

1	名 称 (予 算 事 業 名)		消防施設等整備事業費補助金										
			予 算 事 業 名		消防水利等整備費								
			予算事業コード		00774								
2	交 付 開 始 年 度		昭 和	45	年 度	創 設 か ら 56 年 度 目			3	終 期	令 和	9	年 度
4	分 類		事業費補助						5	所 属		消防課	
6	根 拠 法 令		鈴鹿市補助金等交付規則、鈴鹿市補助金等交付要綱										
7	事 業 の 目 的 ・ 概 要		災害に対応できる施設・水利を整備することにより、地域防災力の向上を目的とする。										
8	補 助 対 象 者		自治会及び消防分団										
	交 付 先 (補 助 対 象 者 と 異 な る 場 合)												
9	補 助 金 額 等	(単位:千円)	補助対象事業費 (A)	財 源 内 訳				補助率 (B/A)	補助対象事業費の繰越額 (C)	補助金に対する繰越金の割合 (C/B)			
				市 補 助 金 (B)	国 補 助 金	県 補 助 金	そ の 他						
		R4年度決算額	1,524	508	0	0	1,016	33.3%	0	0.0%			
		R5年度決算額	2,594	914	0	0	1,680	35.2%	0	0.0%			
		R6年度当初予算額	1,593	531	0	0	1,062	33.3%					
		R7年度予算要求額	2,650	1,000	0	0	1,650	37.7%					
10	補助対象事業費の内訳 (具体的に記載)		令和7年度 ☆自治会消防用ホース収納箱（補助金額：所要経費の3分の1の額） 650千円（令和3年度から令和5年度の実績値を平均して 換算） ☆防火水槽改修及び市長が認める消防施設（補助金額：所要費用の2分の1の額） 350千円										
	補助金等の算出根拠 (具体的に記載)		鈴鹿市消防施設等整備事業費補助金交付事務処理マニュアル										
	増 減 理 由		自治会等の要望に基づいて年次計画的に整備しているため増減が発生する。										

(2) 補助金等判断基準

11	総 合 評 価 点	20	12	適 否 の 評 価	継続
13	補助金等の判断基準	評 価 点	評 価 の 理 由		
	必 要 性	5	災害時における地域防災体制の充実・強化に繋がる。		
		(減点) 0			
	公 平 性	5	鈴鹿市全域を対象としているため公平性がある。		
	効 果 性	5	【評価の理由】 災害時における地域消防力を確保するために非常に効果がある。		
			【補助金等の交付により得られる効果・実績・目的の達成状況（具体的に記載）】 地域の消防力を維持・確保するために不可欠な要素であり、市が消防責任を果たすために十分な効果がある。 また、地域住民が初期消火活動を行うことで被害を軽減できる。		
透 明 性	5	鈴鹿市補助金等交付規則及び鈴鹿市補助金等交付要綱に基づいている。			
	(減点) 0				

(3) 終期延長の理由（終期を延長した初年度のみ記入）

前回終期 令和 6 年度

災害に対応できる消防施設・消防水利等を整備することにより、地域防災力の向上が認められるため。